

みずほCustomer Desk Report 2026/09/11 号(As of 2026/09/10)

みずほ銀行 国際為替部

【昨日の市況概要】				公示仲値	153.73
	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	153.55	1.1634	178.72	1.3547	0.7221
SYD-NY High	154.66	1.1641	179.47	1.3559	0.7223
SYD-NY Low	153.29	1.1592	178.47	1.3493	0.7156
NY 5:00 PM	154.41	1.1612	179.27	1.3510	0.7157
	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	52,064.10	▲ 316.56	日本2年債	1.8160%	▲ 0.0150%
NASDAQ	26,081.73	▲ 171.61	日本10年債	2.9050%	0.0290%
S&P	7,591.70	▲ 44.66	米国2年債	4.5835%	0.1488%
日経平均	65,270.95	128.17	米国5年債	4.7591%	0.1384%
TOPIX	4,054.58	7.94	米国10年債	4.9596%	0.1159%
ソコ日経先物	63,930.00	▲ 180.00	独10年債	3.4961%	0.0600%
ロンドンFT	10,608.92	▲ 61.14	英10年債	5.3713%	0.1088%
DAX	25,361.15	▲ 215.30	豪10年債	5.2500%	0.0410%
ハンセン指数	24,954.47	▲ 320.49	USDJPY 1M Vol	9.58%	▲ 0.92%
上海総合	3,934.40	▲ 17.10	USDJPY 3M Vol	9.40%	▲ 0.26%
NY金	4,407.30	▲ 53.40	USDJPY 6M Vol	9.04%	▲ 0.20%
WTI	102.48	6.43	USDJPY 1M 25RR	▲ 1.95%	Yen Call Over
CRB指数	429.15	6.04	EURJPY 3M Vol	8.66%	▲ 0.19%
ドルインデックス	99.09	0.27	EURJPY 6M Vol	8.45%	▲ 0.07%

【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
9月10日	15:00	独 CPI(前月比/前年比)・確報	8月 0.2%/2.9%	0.2%/2.9%
	21:15	欧 ECB預金ファシリティ・レート	9/10週 2.50%	2.50%
	21:15	欧 ECB主要政策金利	9/10週 2.65%	2.65%
	21:15	欧 限界ファシリティ金利	9/10週 2.90%	2.90%
	21:30	米 新規失業保険申請件数	9/5週 206k	205k
	21:30	米 PPI(前月比/前年比)	8月 0.4%/5.4%	0.4%/5.3%
	21:45	欧 ラガルドECB総裁発言	本日下した決定は全会一致だった	
	23:00	米 中古住宅販売件数	8月 3.98m	3.98m
	23:00	米 卸売在庫(前月比)・確報	7月 1.3%	1.3%
	23:00	米 卸売売上高(前月比)	7月 0.8%	-

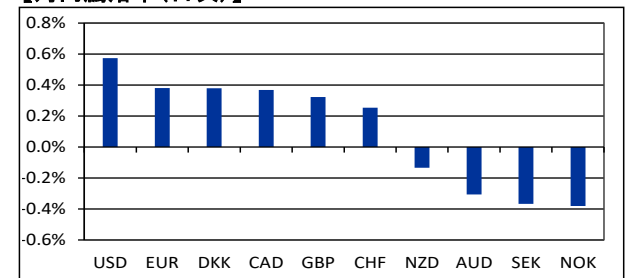
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
9月11日	15:00	英 鉱工業生産(前月比/前年比)	7月 -0.2%/0.2%	-0.2%/-0.2%
	15:00	英 製造業生産(前月比/前年比)	7月 0.2%/2.1%	-0.5%/0.5%
	21:30	米 CPI(前月比/前年比)	8月 0.4%/3.4%	0.1%/3.4%
	23:00	米 シカゴ大学消費者マインド・速報	9月 51.0	51.7

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	153.70~155.20	1.1550~1.1650	178.50~180.00

【マーケットインプレッション】

本日のドル円は、米8月CPIの発表を控えて様子見ムードが強まりつつも、底堅い展開となりそうだ。昨日発表された米物価指標が堅調だったことを受け、来週のFOMCでの利上げは7割程度織り込まれている。中東情勢の悪化を背景に原油先物相場が一時1バレル＝104ドル台まで急騰しており、原油高による米長期金利の上昇もドル円を支える要因となっている。本日発表される米8月CPIが強い内容となれば、来週のFOMCでの利上げ観測が一段と強まり、ドル円は上値を試す可能性もあるだろう。

東京	東京時間のドル円は153.55レベルでオープン。増日銀審議員が講演で利上げへ前向きな姿勢を示すと153円台前半へ小幅に下落。もともと、既に市場では先行きの利上げが相応に織り込まれていることもあり、即座に下げ止まった。その後は方向感無く推移し、153.54レベルで海外時間へ渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、153.54レベルでオープン。原油高、金利上昇を伴ってドル高となり154.20円まで上昇。その後大きく調整することなく154.15レベルでNYに渡った。ユーロドルは、1.1639レベルでオープン。午後にECB政策金利発表を控えながらも全体的なドル高が重しとなり1.1615に低下。結局、1.1608レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	NY市場のドル円は、朝方に発表された米8月PPI(前年比)が予想を上回ったことや原油価格の上昇を受け、9月のFOMCでの利上げ観測が高まり、154.66まで買われる。その後は伸び悩み、154.00付近まで反落する。午後は米金利の上昇を背景にドル買いが優勢となる中、154.30付近まで戻し、結局154.41レベルでクローズ。一方、ユーロドルは1.1608レベルでオープン。ECB理事会は25bpsの利上げを決定し、主要政策金利を2.50%に引き上げ、その後に行われたラガルドECB総裁の記者会見では、今後の金融政策を巡り、効派よりの発言が多く見られた。一連の結果を受けて、市場はユーロ買いで反応し、1.1631まで上昇する。その後は買い一巡となり、1.1620まで反落。午後は終盤にかけて1.1610付近まで下落し、結局1.1612レベルでクローズ。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は執筆時点で信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。当資料は執筆者の見解に基づき作成されたものであり、みずほ銀行及びみずほフィナンシャルグループの統一された見解ではありません。当資料に基づくお客さまの決定、行為、およびその結果について、当行は一切の責任を負いません。ご利用にあたっては、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。当資料の著作権はみずほ銀行に帰属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。また、ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。